

碩心

社団法人 日本詩吟学院 岳風会 認可
神奈川 碩心 会 発行

7年7月現在 地区区分計 逗葉大地 (合)	7年7月 根編中	7年7月 岸村	(276号) 行者 集者 岳者 岳愛
会員数 176名 204名 44名 424名			

八月の予定行事

○県本部指導者吟道講座

日時・8月6日(日)9時受付

会場・横須賀文化会館大ホール

○第2回全国優秀吟者大会

(碩心会予選会)

日時・8月13日(日)午後5時30分より

会場・六代御前社務所(予定)

申込先・各地区長及び庶務部松井正岳方

坤 8月6日(日)

東伏見支部誕生

7月1日付で、下山口支部より独立、東伏見支部として発足しました。会員は左記の方々です。(番号は現名簿のもの)

- 672 森合敬泉 673 山田量泉 671 日比恵泉
- 670 大内萃泉 678 山本新泉 744 山之口浩
- 745 寺岡七男 749 北原芳人 759 稲村義雄
- 760 鈴木幸子 (支部長・森合敬泉)

※ 新名簿では、順位が右の順になりますので念の為

頼瀬地区 連吟コンクールに優勝

6月11日、鎌倉中央公民館分館で行なわれた右会の連吟コンクールに、碩心会一色A支部(川口喜美子、鈴木洋子、奥野敏子)チームが優勝しました。順位は左記の通りです。

- 1位・碩心会 2位・東芝詩吟部
- 3位・横須賀吟星会 4位・青嵐会
- 5位・碩心会

碩心温習会 合吟コンクール(7年6月25日)

- 1位・逗子A支部 2位・真澄支部
- 3位・真澄支部 4位・逗子A支部
- 5位・堀内支部・F

◎ 寒河江吟行会特集について

6月18、19日の寒河江吟行会は、皆さんの期待通り、大変楽しく、そして寒河江吟友会の皆さんの暖かいお心にふれ、心に残る思い出の旅となりました。その感動から多勢の皆さんからたくさんの記事をいただきましたので「吟行特集」として記載させていただきました。とにいたしました。記事満杯のため一部変更削除、順不同等、お許し願います。(広報部)

碩心会、寒河江吟友会

姉妹会提携十周年記念交歓会

吟魂碑前にて両会員による大合吟
「神州」 先導 大泉 瑞 岳

(会場を移し懇親会)

開会のことば 副会長 竹 永 岳 霄
あいさつ 寒河江会長 卯 月 岳 儒

〃 碩心会会長 (代)加 藤 岳 相

寒河江吟友会詩 先導 安 孫 子 浩 岳

碩心会の詩 先導 中 村 岳 郵

独 吟 寒河江副会長 川 越 峰 岳

〃 碩心会 〃 千 葉 岳 関

〃 寒河江 〃 竹 永 岳 霄

〃 碩心会会長 (代)加 藤 岳 相

〃 寒河江会長 卯 月 岳 儒

乾 杯 副会長 千 葉 岳 関

祝 舞 寒河江吟友会 高 橋 恵 岳

〃 碩心会 嚙(坤) 齋 巖 岳

閉会のことば 副会長 川 越 峰 岳

寒河江の皆様の御心遣いのおもてなしで、
和氣藹々のうちに、各テーブル毎話に華が咲
き、益々の友好を深めることができました。

寒河江吟友会へのメッセージ

末長く姉妹会としておつきあいを

会長 根 岸 岳 萃

サクランボの実る佳き日に、碩心会と寒河
江吟友会が、姉妹会提携十周年の集いを挙行
されましたこと、おめでとうございます。ま
た会長卯月岳儒先生の総伝昇格、併せてお祝
い申し上げます。

思っておせば、十年前の同じ月に、今は亡
き松井岳洋先生と一緒に、念願であった寒
河江を訪問し、吟友会の皆様の歓迎をうけま
したことが、昨日のことのように思えます。

私こと、一月二十八日より健康を害してし
まいましたが、四月頃迄にはなんとか頑張つ
て参加したいと、松井君に申し込んでいたです
が、参加できなくなり、大変残念に思ってお
ります。

碩心会と寒河江吟友会が、末長く姉妹会と
して仲よくおつきあひしてゆきますよう祈念
し、両会の発展を心より祈ります。又総本部
でも卯月先生に期待しておりますので、どう
ぞ健康にはくれぐれもお気をつけ下さいませ
よう。私の挨拶とさせていただきます。

皆様の協力で無事終了に御礼

副会長 加 藤 岳 相

故松井岳洋先生のご推奨により、山形県寒
河江吟友会と姉妹会を結んでより今年で十周
年目。碩心会企画部のお骨折により、去る六
月十八日より一泊二日のさくらんぼ狩、吟行
会を兼ね、寒河江吟友会との交流、交歓会が
行なわれました。

梅雨の谷間というか、出発の朝は曇一つな
い晴天。六浦吟詠会会員三名を含む参加者81
名が二台のバスに分乗一路東北道へ。日曜日
とあつてか道路も渋滞なく、予定より一寸早
目に寒河江に到着。卯月会長他、役員の方々
の暖かい歓待を受け、お互いの交流ができま
したことは喜ばしいことと思いました。特に
卯月会長、竹永副会長両先生より、根岸先生
の一日も早いご快癒をお祈りしていますとの
ご挨拶には、一瞬目頭が熱くなる思いでした。
今後も寒河江吟友会と、信頼と友情の精神を
もって交流してゆきたいと思えます。

会長不在の行事でしたが、皆様のご協力こ
より、さくらんぼ狩を楽しみ、事故もなく無
事終了できましたこと厚く御礼申し上げます。

寒河江吟友会との交歓旅行感想

副会長 千葉岳 関

松井岳洋先生の生前中に行なわれた、第一回目の交歓会の場所となった思い出の寒河江の地に、その子息である、現碩心庶務部長の正岳先生が中心となって、詳細計画された十年目の第二回交歓会がもたれた。誠に感無量のものがある。又、今回の計画を熱心に推進されていた当会長の根岸先生が、御病気で参加できなかったことは誠に残念至極でした。現地で同先生のメッセージを読みあげた時、吟友会の何名かの方が涙していた光景は、強く印象に残りました。

さて、二日にわたるこの旅は本当に楽しかった。初日は天候に恵まれ、心はずむものがあった。吟に係わる諸計画も、幹事をひきうけて下さった先生方の御協力で、極めて的確に進められた。その和やかな車内指導に、会員の方々の余力はカラオケのエネルギーへと変化し、加えてガイドさんの巧妙な語り口には、しばしば乗せられ、舞いあがる風景は、実に楽しいものがあった。会員が、同行された家族、又友人の方も何ら違和感を感じさせず、

一緒に楽しんでいただいたことは望外の喜びであった。ドライバーの慎重な運転ぶりが一層安心感をもたらしてくれたものと思う。私は楽しい反面、少々気が休まらず、車輛長という肩書が少々重い実感としてのしかかり、旅が終って安堵したところである。

二日間のうち、観光の見どころ、又二日目の雨の蔵王などについては、皆さんが大いに語って下さることであろう。私なりに総括してみると、今回尋ねた有名な場所毎に、今は亡き松井岳洋先生の自筆の詩文等が刻まれた碑が、たたずまいの中に厳然として建ち、その懐しさとともに、その威大さがひしひしと伝わってきたのである。寒河江でも二本松でも同様であった。

最後になったが、この交歓会において、終始暖かい御気持で大歓迎して下さいました吟友会会長卯月先生、副会長竹永、川越両先生はじめ、多勢の会員の方々の、言葉に表わせないほどの御接待に、心底より感謝申し上げます。今後、私達もこの御気持に応えることが必要であろうと思う。

お世話になった当会の諸先生、会員の皆さんにも楽しかったー!!と心から御礼申します。

平成七年六月十八日

寒河江吟友会碩心会姉妹会

盟約十周年折念祝賀会に寄す

松和 禿象 宇都宮義八作

盟約維ぎ来りて既に十年

双方意会して吟筵を疊ぬ

先人逝くと雖も後世睦み

交誼は愈深し姉妹の縁

盟約ニ世俗をはなれた風流な交り。
意会ニ気分があう。心が出あう。

交歓会場にて

寒河江での交歓会は嬉しかり

吟友連の御厚意に酔う

寒河江での交歓会で感動す

我が詩を吟ず妙吟を聞き

寒河江での交歓会は忘れ得ぬ

自作自吟で祝詩披露し

心に残る人情の暖かさときくらんぼの味

常任理事 村 田 瀧 岳

寒河江吟友会の方達のお迎えの車に乗り、吟魂碑の前に勢揃いし、「神州」の合吟をしながら、十年前には松井岳洋先生も高橋会長もお元気で、楽しく過したことなど思い浮べ、又、この旅行を楽しみにしていられた根岸会長、綾部先生、木村(松)先生が体調をくずされ参加できなかったこと、本当に残念でした。山の上から見る寒河江市内は昔と少しも変わっていないのに、人生の無情をつくづくと感じます。

金屏風のあるすてきな会場での懇親会は、皆様のお心尽くしを有難く、都会では味わうことのできない人情の暖かさを感じ、さくらんぼの甘ずっぱい味と共に、いつまでも心に残ることと思います。

蔵王は霧がかかり、お釜を望むことはできませんでしたが、昨日の事故でさかさになっているバスの姿を見ながら、事故もなく帰路につけたことを嬉しく思います。参加の皆様も楽しんでいただけたでしょうか。すばらしい心のふれあいに又御一緒しましょう。

故郷に帰り母親に会った気持

常任理事 松 井 正 岳

今回の寒河江吟行会に81名の参加をいただき、大成功で終わりましたこと、皆様のお世話をさせていただいた者の一人として大変嬉しく思っております。

数カ月前より、寒河江吟友会の佐藤牧風先生と連絡を取りあい、準備をしてきた甲斐がありました。寒河江インターには、高田歩岳先生に迎えにいただき、詩吟の森では一年振りに竹永岳霄先生にお会いでき、久しぶりに故郷に帰り、母親に会ったような気持ちになりました。そしていつもここに顔で迎えて下さる卯月岳儒先生、親身になってお世話下さった吟友会会員の皆様、ほんとうにありがとうございます。

今回の吟行会は両会員の皆様の御協力にあつたことに心から感謝申し上げます。

~~~~~ 8 ~~~~~

※今回の吟行会は、何かと山形に御縁のある松井先生を主に、お骨折りいただき、心に残る楽しい旅ができました。会員一同心から御礼申しあげます。

## 寒河江吟行会によせて

企画副部長 上 村 象 岳

企画副部長としての始めての吟行会で、松井正岳先生の計画に便乗する形でなんとか企画部として、計画や準備に微力ながら参加することができました。この計画に最初から立案、計画、実行に携わっていただいた方々に、綾部企画部長になりかわり、厚く御礼申し上げます。

寒河江においての、寒河江吟友会の方々の交歓会や、さくらんぼ狩りに際しての準備や、会員の方々の自家用車による送迎等々、深く感謝申し上げます。またこの企画に賛同参加いただきました碩心会員の方々の、ご協力ありがとうございました。

さて今回の吟行会に際し、私の感じたことは、吟魂碑の建立についての苦労話を聞きながら、もし神奈川でこれだけの吟魂碑を…と思うと、会員の方々の一致団結の強さを感じざるを得ませんでした。

木になつたままのさくらんぼ狩のなんともいしかつたことか。園の若き御主人、若い女性にさくらんぼを採って渡し「持って帰って

もいいのですか」の間に、「二つ返事で「ああいいですよ」。そばにいた会員が「美人はいな」とつぶやき「わたしにも」と言ったら御主人「勝手にもつてゆきな」。その何ともいえない正直さとタイミングに周囲の会員一同大爆笑。でもその人にも採ってあげていた。

交歓会での素晴らしい先生方の吟詠を静かに聞けなかったのがちよつと残念でした。寒河江の先生方の吟詠の時だけでも静肅に聞くマナーを身につけてほしいと感じました。

夜が明けて下駄をはいて朝市へ。六時〜八時半までとのこと。朝の早い東北の働きの一端を見る思いです。又帰路バス停で「高松葉山温泉行」の看板を見付け、ホテルの方に聞いてみたところ、葉山という山がありますとのこと。東北で葉山を見付け、なにか親近感を覚えました。

二本松少年隊の話聞いて、会津の白虎隊の影にかくれて、丹羽藩にもこんな話があったのかの感あり。大船A支部の山口夕岳さんの御主人が、ここ丹羽藩の藩士の子孫とのこと、改めてその感を深めました。

家に帰り、心地よい疲労におそわれ、倅せな二日間が終りました。 感謝

## 心が一つになった交歓会に感動

六浦吟詠会 黒 沢 昇 岳

この度の吟行会に根岸岳萃先生よりお誘いをいただき、六浦吟詠会より私達三名参加させていただきました。

偶々今回は碩心会と寒河江吟友会の「姉妹会提携十周年」とのこと、その記念式典にも参加の栄を賜り、誠に有難く感謝いたしました。神奈川、寒河江と遠く離れていても、会員の皆様の心が一つになった交歓会は、大きな感動となって心に残っております。

碩心会、寒河江吟友会の皆様、大変お世話になりました。

## 大変参考になった吟行会

六浦吟詠会 長谷川 俊 岳

この度姉妹会提携十周年吟行会に、六浦から参加させて頂き、交歓会、さくらんぼ狩等、心の暖かさに触れることができ、ありがとうございます。ございました。

六浦吟詠会も三年前の六月、吟詠のご指導を賜っております根岸岳萃先生のお計らいで寒河江吟友会と交流を得ることができました。

今回も又その時と同様、会員の皆様の自家用車による送迎、さくらんぼのお土産等、いつも変らぬご厚情に感銘いたしました。

交歓会では根岸先生からのメッセージ代読、続いて竹永副会長先生の素朴で人情味あるご挨拶あり、そして各テーブル毎に双方の会員が座り、長旅の疲れも忘れ、話に華が咲きました。又夜の宴会も大変盛り上り、名人の多いことに感心しました。

今回、小休憩、バス集合時間等が徹底され、幹事役員先生のご努力が伺えました。私達も六浦吟行会幹事として大変参考になりました。最後に根岸先生の日も早い回復を祈ります。

## 印象に残った松井先生の筆跡

六浦吟詠会 大 川 要 岳

長駆一千余軒の旅：美味しいサクランボのお土産と、楽しかったたくさんさんの思い出を、六浦に持ち帰りました。

初めて訪れた二本松大隣寺では、松井岳洋先生のすばらしい二本松少年隊の碑文の筆跡が強く印象に残っております。

碩心会、寒河江吟友会の皆様、ありがとうございました。

## 暖かい歓迎に涙

逗子A 安田 聡 岳

碩心会の役員の方のお骨折りに感謝しつつ山形へと向い、寒河江に着いては、さくらんぼを喰べ放題喰べ、会員の皆様の暖かい歓迎に、十年前のことを思い出し、涙の出るほど心に打たれました。私にとつてこの上ない倅せでした。心から御礼申しあげます。

## 忘れえぬ固い握手

逗子A 鈴木 南 風

待ちに待った吟行会。私は今回感激したことはございません。緑の絨毯を敷きつめたような庄内平野、遠く山々が霞み、さながら絵画の中を走り抜ける思いでした。

寒河江では会員皆様の暖かい歓迎に恐縮し、吟魂碑前での合吟をすませ、そして交歓会では山盛りのさくらんぼに思わず声が出る程、皆様のおもてなしに心打たれました。諸先生の御挨拶があり、根岸先生の来られぬ事を残念がられ、私達も涙する思いでした。帰りに竹永先生の長くて痛いほどの固い握手が嬉しくて忘れられません。この様な柔しい吟行会

を計画され、又お世話下さった先生方に厚く御礼申しあげます。

## 大合吟に感激

逗子A 川 瀬 雪 山

前方はるか寒河江川の流れを望み、小高い丘の中腹に、新緑の木々に囲まれて建つ吟魂碑の前で、寒河江吟友会の皆さんと一緒に、  
// 神州 // の大合吟を行ない、今は鬼籍に入られた祖宗範木村岳風先生と、松井岳洋先生の許までとどけとばかり吟じ、ただ感激あるのみでした。

(日本一美味しいさくらんぼ)

6月20日の朝、「さくらんぼが今着きました。とても甘くて美味しい。ありがとうございます」と埼玉の義妹からの電話。しばらくして又電話、「寒河江のさくらんぼは日本一おいしいので有名よ。たくさんありがとう」。これは北海道の妹夫婦から。

碩心会の皆様も、親戚知人の方々へ送られて、今頃は全国各地へ寒河江のさくらんぼが届き賞味されていることでしょう。私もさくらんぼを頬張りながら、寒河江の皆様の暖かいおもてなしを思い、心から感謝しています。

## さくらんぼお腹いっぱい最高の贅沢

逗子A 松岡 杏山

トンネルを抜けるとそこは雪国だった…。川端康成の小説ではないけれど、私達の旅は長いトンネルを抜けると、そこはパツと青空がひらけて感激！

見晴らしのよい平野山の吟魂碑の前での合吟は深く胸に沁む。又美味しいサクランボの喰べ放題、お腹いっぱい最高の贅沢。寒河江吟友会の方々の暖かいおもてなしに感謝感激。

蔵王山頂のお釜は風と霧雨：ものすごいガスで、残念ながらお釜まで行けなかったが、山特有の風情は逗子あたりでは見られぬ得がたいもの。企画実行して下さった諸先生方、楽しい思い出をありがとうございました。

## 故高橋会長の偉大さを思う

常任理事 鈴木 岳 抄

十年前の吟行会には主人の病気で参加できず残念でしたが、今回始めて参加させていただきました。

道路の渋滞もなく、無事山形に到着、寒河

江の皆様のお迎えの車に分乗、見晴らし最高の平野山へ御案内いただきました。松井岳洋先生書になる吟魂碑と、木村岳風先生の胸像に思わず手を合せました。完成迄の説明を伺い、亡き高橋会長先生の偉大さを感じました。吟友会の皆様との「神州」の大合吟に感激、次はさくらんぼ狩へと案内された。見事なさくらんぼの味を楽しみ、雨にあたらぬようにの御苦労が思われました。

次は懇親会場へ。先生方のご挨拶、合吟、乾杯、祝舞にと盛んな拍手。寒河江吟友会の皆様の心温まる接待に感謝してお別れを惜しみながら宿泊のホテルへと向い、宴会も楽しく盛り上りました。

一夜明け8時30分ホテル出発。将棋の王将堂を見学して蔵王へ向ったが、あいにくの雨で断念、こけしの手作りの様をみて二本松大隣寺に着く。松井岳洋先生の書になる二本松少年隊の詩の石碑の前で詩を合吟、感動しながら車中の人となり、カラオケ等で楽しむ中予定時間より早く無事に葉山着。心に残る吟行会でした。

役員の皆様、お疲れ様でした。心から御礼申し上げます。ありがとうございました。

### 今回も又暖かいお心遣いに感謝

堀内・F 高井 定風

6月18日、総勢81名は二台のバスに便乗、薄曇りの逗子をあとに一路山形へ。思いおこせば十年前、吟行会に参加させていただき、松井先生のご親戚、吟友の皆様的心からのご厚情に、胸を熱くしたあの感動が昨日のことのように甦ってきました。

今年姉妹会提携十周年記念という意義ある旅行でした。今回も又々現地の吟友の皆様のお世話になり、旅先で受ける暖かいお心遣いは一生忘れることが出来ません。これからも吟を通じて末長く親交が続きますことを祈ります。終りに碩心会のお世話下さいました諸先生に心から御礼申し上げます。

(俳句)

滝の坂 佐久間 爽岳

萬緑に招かれ吟魂碑の前に

月山を望み桜桃たわわなり

花卯つ木雨に煙れる蔵王みち

青梅雨やこけし工房灯りたる

(憶二本松少年隊)

緑陰に少年隊士の墓睡る

(俳句)

堀内・D 板橋 雅岳

みちのくはつきることなき青田風

朴の花霧はたちまち晴れ上がり

(短歌)

木々深き山ふところの吟魂碑

天にとどけと大合吟す

(俳句)

堀内・D 新井 衛風

梅雨空に香華ながるる隊士塚

霧雨にお釜もみせぬ蔵王山

### 道中ひとこま

大船A 岩崎 恵岳

心はずませながら着いた山頂は、生僧の悪天候で、景色を見るどころではなく売店へ逃げこんだ。休む間もなくバスへ戻ろうとした時「ここから蔵王のお釜が見えるよ」の松井先生の声。「あらほんと？」と二階への階段をかけ登ると、「ホラね、写真のお釜が見えたでしょ。」ですって。思わずギャフン。

## 幼な心にかえつてさくらんぼいただく

大船A 加藤玲風

寒河江吟友会の皆様の心暖まる歓迎に感謝いたしました。又生まれて始めてのさくらんぼ狩には、幼児のごとく、豊かな気持ちで喰べさせていただき感動しています。計画された諸先生方に深く感謝申し上げます。

## 次の機会もお仲間をさそつて又参加

大船A 梅原玲山

碩心会の一員として始めて吟行会に参加させていただきました。サクランボ狩、寒河江吟友会の皆様の心暖まるおもてなし、そして蔵王お釜、二本松少年隊士の墓等々、すべて満足のものでした。特に故松井岳洋先生揮毫による吟魂碑、二本松少年隊の碑を目のあたりにして、身振りするほどの感動を受け、碩心会の一員であることに胸の高揚を押さえることができませんでした。

バスの中での楽しい二日間、顔の皺が何本も増えた様に笑い転げました。今回参加できなかったお仲間にも声をかけ、次の機会には必ず参加させていただきます。

## 口に溢るる忘れられない甘味

吟詠 三壁照岳

寒河江の皆様方の心に沁みる暖かいおもてなし、お心遣いありがとうございます。又たわなに実ったサクランボの口に溢るるあの甘味、生涯忘れられない思い出ができました。

さくらんぼ椀ぐや伝わる木のほてり

~~~~~ 8 ~~~~~

第18回 碩心会温習会

6月25日、右会が逗子図書館ホールで行なわれました。うっとりという梅雨の最中でしたが、当日は薄日も出て、会員の皆さんの出足のよいのに嬉しい限りでした。私も早目に会場に入りましたが、もう満席には驚きました。定刻千葉先生の開会の辞では、病氣療養中の根岸会長に届く様に、みんな大きな声で、元気よく今日一日頑張りますよとの挨拶に、会員一同一日も早い回復を祈りました。

役員の皆様の活躍で定刻通り進行、お昼近く式典が行なわれ、許証授与がありました。皆さんの晴々とした姿が印象的でした。続いて高齢者表彰がありました。皆さんとても

80才以上とは思えない元気に感心しました。午後は吟舞にしばしうっとりし、つづいての合吟コンクールの力量は甲乙つけがたく、全員優勝を願う心でいっぱいでした。

会も終りに近づくといつもですと空席が目立つのですが、今回はほとんどの方が、熱心に吟に聴き入っている姿に嬉しく思いました。コンクール順位の発表があり、優勝組、次点組他どのチームにも拍手を送り、三井岳龍先生の元気な万歳三唱に私達も会場いっぱい

(入会)

758 久保木三郎 横須賀市長井三十二四三

(逗子A) ☎〇四六八一五七二七六八

759 稲村義雄 葉山町堀内二一〇〇一八公舎

(東伏見) ☎〇四六八一七五一一二六二

760 鈴木幸子 葉山町堀内二一〇〇一六二

(東伏見) ☎〇四六八一七六一三三六二

761 河田かほる 横浜市泉区岡津町一五九三―15

(戸塚) ☎〇四五―八一三一七四八四

たくさんさんの感動の吟行記に嬉しい悲鳴をあげました。申しわけありませんが、未掲載分は次号に掲載しますのでお許し下さい。